



- 1 VCCピンに5Vを供給する。
- 2 フォトダイオードあたり最大4mWの光パワーで受光素子を照らします。
- 3 (オプション) log A/Bオフセットをポテンシオメーターで設定する。ジャンパーx1、x10でログA/Bゲインを設定する。
- 4 出力は端子台で利用可能です。

出力電圧対入力光パワー

対数増幅器出力の電圧 V_{out} は、入力光パワー P_{in} に対して次式で表される。

$$V_{out} = VY \log_{10}(S P_{in} / IZ),$$

ここで、 $VY = 300 \text{ mV/decade}$ は対数スロープ、 $IZ = 100 \text{ pA}$ はインターセプト電流、 S はフォトダイオードの応答性(800 nmで0.55 A/W)である。